

旭川市 GIGAスクール通信

新1年生入学特別号
令和4年4月
【発行】
旭川市教育委員会
(0166)25-7542

「GIGA^{※1}(ギガ) スクール構想」とは

社会生活のあらゆる場面でインターネットやデジタルツールが必要不可欠になっており、これからの社会を生きるために必要となる情報活用能力^{※2}は、子どもたちの学習の基盤となる資質・能力の1つであるとされています。

このような中、令和元年末に、児童生徒が1人1台の情報端末を学習活動で活用していくGIGAスクール構想が国から示され、令和3年度からは全国の小中学校で1人1台の情報端末が授業などで活用されており、令和4年度からは高等学校でも、高校1年生から順次1人1台の情報端末を活用していくこととなっています。

本市においても、健康面や個人情報の保護に配慮しながら、各学校でICT^{※3}を効果的に活用し、教育活動の充実を図ることを通して、これからの時代に求められる情報活用能力を身に付け、主体的に学び、多様な人々と課題を解決しようとする児童生徒の育成を目指し、令和3年度から市立小中学校の学習活動に児童生徒1人1台の情報端末を活用しています。

情報端末については、旭川市立小中学校の児童生徒は学校に配備している情報端末を使用し、北海道立高等学校や私立高等学校では各家庭で用意することになっています。

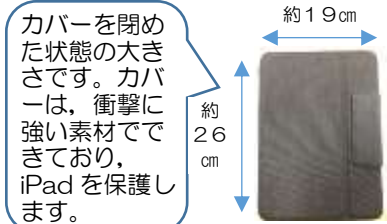
- ※1「GIGA」:「Global and Innovation Gateway for All」の頭文字を略したもので、「全世界と技術革新への扉を全ての子どもたちへ」という意味
- ※2「情報活用能力」:学習活動において必要に応じ、コンピュータ等の情報手段を適切に用いて情報を得たり、情報を整理・比較したり、得られた情報を分かりやすく発信・伝達したりすることなどができる力
- ※3「ICT」:「Information and Communication Technology」の頭文字を略したもので、「情報通信技術」という意味

学校で使用する情報端末とクラウドについて

旭川市立小中学校ではAppleのiPad(32GB, Wi-Fiモデル, キーボード一体型ケース付き)を使用し、児童生徒が1人1台ずつ使うための必要台数を学校に用意しています。最初は、使用上のルールを確認したりiPadの操作に慣れたりすることから始め、ルールを守って大切に使用できるように、学校で指導を行います。

また、GIGAスクール構想では、学習者用ツールとしてクラウドを使用することになっていますが、本市ではGoogleが提供する教育機関向けのクラウドサービス「Google Workspace for Education[※](グーグル ワークスペース フォー エデュケーション)」を使用します。

※「クラウド」についての説明は、裏面のQ&Aを御覧ください。



ICTを活用する学習場面

学級全体で一斉に行う学び



一人一人に応じた個別の学び



子ども同士の協働的な学び



非常時の情報端末等の貸出しについて

感染症や災害の発生等の非常時に臨時休業又は出席停止等により、やむを得ず学校に登校できないときに、保護者がお子様の家庭学習用として端末の貸出しを希望する場合には、情報端末と充電器等を貸出しします。御家庭にWi-Fi環境がない場合には、モバイルWi-Fiルータを合わせて貸出しします。貸出しに当たっての詳細については、学校にお問合せください。

Q&A

Q 卒業した児童生徒のiPadは、どうなるのですか？

A 卒業した児童生徒が使用していたiPadは初期化して内部のデータを消去した後、再設定をして、次は新生児が使用することになります。

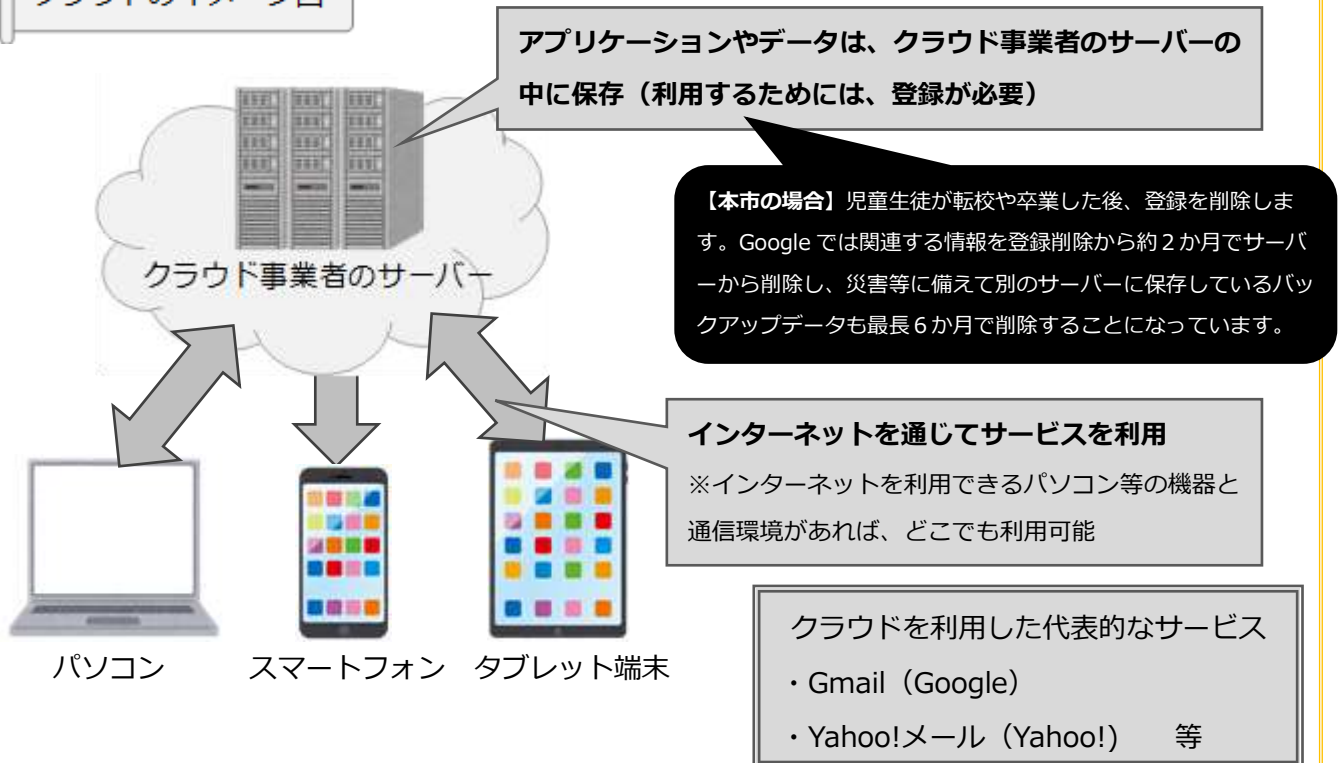
Q 学校では、毎時間の授業でiPadを使用するのですか？

A 授業の内容に応じて、iPadを使用する授業と使用しない授業があります。また、健康面への配慮から、1時間の授業の中でも使用する時間が長くないようにします。

Q 「クラウド」とは何ですか？

A 「クラウド」とはクラウド事業者を利用登録をして、パソコンやスマートフォン、タブレット端末のアプリケーションやデータの保存先として、クラウド事業者のサーバー（パソコンなどのデータを保存したり共有するコンピュータ）を利用する仕組みのことです。旭川市立小中学校では、成績等の個人情報は学校に設置したサーバーのみに保存します。「クラウド」を利用するのはiPad等を活用した学習活動のみとなっています。

クラウドのイメージ図



旭川市のホームページに、これまでに発行した「旭川市G I G Aスクール通信」を掲載しています。右のQRコードから掲載ページに移動することができます。

